

ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学経営情報学部 ビジネスデザイン学科
山島 一浩



筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

目次

教育の責任	3
教育の理念	4
教育の方法	5
教育の成果 および 今後の目標	6
参考資料	6

教育の責任

1. 何を担当しているのか

私は、学生たちが、これからの時代を生き抜ける力を養い、市場環境とともに変化する経営情報環境をとらえ、ビジネスや社会の在り方を変える力をつける教育をしていきたいと思ひます。それには、学生に、さらなる読解力とともに、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい判断力を生み出す力を働かせる学びの場を設けていきたいと考えています。学生には、メディアデザイン基礎、コンピュータ言語入門C（JAVA スクリプト）①、②の基礎科目から情報の基本的な学びをつけて、情報システム、マルチメディアの講義科目で知識を得、ウェアラブルコンピューティング、Web デザインA、Web デザインB、表現と伝達A、表現と伝達B、プログラミング（J A V A）などの専門選択科目へと学びを続け、メディアデザイン演習D1(Web 表現と活用)、メディアデザイン演習D2(Web 表現と活用)の発展科目で自らの柱を立て、しっかりと卒業研究へとつないでいく責任を果たします。

2. 担当科目

現在（2019年度現在）の担当科目とその概略は以下のとおりである。

科目名	対象学年	受講人数 [※]	授業形態	必修選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
メディアデザイン基礎	1	40	講・演	選択	総合教養科目群 教養科目
コンピュータ言語入門C(JAVA スクリプト)①	1	40	講・演	選択	入門科目群 入門科目群
コンピュータ言語入門C(JAVA スクリプト)②	1	40	講・演	選択	入門科目群 入門科目群
Web デザインA	2-4	10	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
Web デザインB	2-4	5	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
表現と伝達A	2-4	30	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
表現と伝達B	2-4	30	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
情報システム	2-4	30	講義	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
マルチメディア	2-4	30	講義	選択	専門基礎科目群 共通科目
プログラミング(JAVA)	2-4	10	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
ウェアラブルコンピューティング	2-4	20	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
メディアデザイン演習D1(Web 表現と活用)	3	16	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
メディアデザイン演習D2(Web 表現と活用)	3	8	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (情報デザイン)
卒業研究	4	(若干名)	演習	必修	卒業研究

教育の理念

1. 新しい情報を活かせる学生の育成

メディアデザイン基礎、コンピュータ言語入門C（JAVA スクリプト）①、②の基礎科目では、まだなれないPCの環境に、戸惑わない、そして、新しいことに触れることの良さを感じれる自分に、キツキツと出会うことを大切にしたい。その中で自分自身が、入ってきた新しい情報を新しい物を創る材料として活かせるような授業設計をしています。

2. 自身の能力を再度活かせる時間を創ることで自身の成長を確認できる授業

情報システム、マルチメディア、WebデザインA、WebデザインBでは、学んできた文書処理で力を発揮してもらおう。新しい用語などを覚えることに、自分の能力として身についたことを再度いかせる場をつくり、自分の成長を確認できる授業設計をしています。

3. 最新の技術を持った授業内容で新しさを体験できる、試していける

表現と伝達A、表現と伝達B、プログラミング（J A V A）ウェアラブルコンピューティングでは、最新の技術を用いるのですが、それを夏休みの高校生講座で設定するので、助手として学んだことをいかせる場を設けています。

教育の方法

1. **Web** で授業の内容を知り、その場でレポートが出せる。

Google Classroom で授業内容を知り、レポートも出せるので、生活習慣にあわせて勉強の時間を設定することができます。大学の授業を学び、自宅に帰ってレポートを完成させて提出ができます。

2. **文書の構成力を鍛える授業**

学んだ内容を自分のノートとして、レポートやブログにしています。多くの企業がコンテンツマーケティングを意識している状況ですから、ブログ記事など、文書の構成力を鍛えるための練習は欠かせません。

3. **客先の意識した、共同作業による授業課題の設定**

Web デザイン B、メディアデザイン演習 D 1 (Web 表現と活用)、メディアデザイン演習 D 2 (Web 表現と活用)では、時として、客先を意識したコンテンツを共同作業により解決していく場を設けています。

教育の成果 および 今後の目標

詳細は「授業改善報告書」を参照。

参考資料

授業改善報告書（過去年分のもの）

Google Classroom（URL：<https://classroom.google.com>）（部外秘）

- ・メディアデザイン基礎
- ・コンピュータ言語入門C（JAVA スクリプト）①
- ・コンピュータ言語入門C（JAVA スクリプト）②
- ・Web デザインA
- ・Web デザインB
- ・表現と伝達A
- ・表現と伝達B
- ・情報システム
- ・マルチメディア
- ・プログラミング（J A V A）
- ・ウェアラブルコンピューティング
- ・メディアデザイン演習D 1 (Web 表現と活用)
- ・メディアデザイン演習D 2 (Web 表現と活用)
- ・卒業研究